



# 文学と人々の想い、 歴史といまが交差するまち 千駄木駅 西側

東京メトロ  
千代田線

文の京(みやこ)・文京区の中なかでも、本郷と並び多くの作家たちが暮らした千駄木は、その面影と世界観を残すところ。幾筋もの坂と小径を歩けば、文学のなかに生きた人々の想いが偲ばれるまちです。



## 1 文京区立 森鷗外記念館

鷗外生誕160年・没後100年、  
そして開館10年…、未来へ続く文化の森

明治25(1892)年30歳から60歳で亡くなるまでの30年間、千駄木に暮らした森鷗外。その旧居「観潮楼」の跡地に、生誕150年目の2012年オープンし、没後100年の今年、開館10年目を迎えた記念館です。若き日に学んだドイツの街並みを彷彿とさせる、静かで凛とした建物に、鷗外の生涯と功績をたどる写真や原稿、手紙などを展示。さらに特別展や文学、芸術、音楽等の関連イベントも催すなど、新たな文化も発信しています。

☎ 文京区千駄木1-23-4  
☎ 03-3824-5511  
📄 一般300円、特別展600円  
※中学生以下無料  
🕒 10:00~18:00(最終入館は17:30)  
📅 第4火(祝日の場合は翌日)、  
12/29~1/3、展示替期間、  
燻蒸期間等  
🌐 <https://morigai-kinenkan.jp/>



読者プレゼント  
ご応募の詳細は20ページへ



《鷗外生誕160年・  
没後100年・開館10年記念》  
オリジナル缶バッジ・オリジナルバッグ

誌面で紹介したお店やスポットに  
ターリーターキーの2人がおじゃまします!

## あらぶんちよ散歩 [千駄木駅西側]

6月6日(月)~12日(日)

- 📺 地デジ10ch 15:00~
- 📺 地デジ102ch 23:00~
- 📺 地デジ11ch 11:00~、14:00~、  
17:00~

📺 YouTube

「あらぶんちよ!チャンネル」  
でも公開中!



団子坂から藪下通り、  
汐見坂…。ここは  
鷗外先生の散歩道だよ



須藤公園  
大名屋敷から明治の実業家・須藤吉左衛門の邸宅となり、昭和8(1933)年、東京市に公園として寄付されました。高低差のある土地を活かした園内には、落差約10mの「須藤の滝」が。池には藤棚が設けられ、楠などの大木や豊かな緑を作りだしています。



夏目漱石旧居跡(猫の家)

明治36(1903)年から3年間、イギリスから帰国後の漱石が暮らし、東京大学の講師を務めながら第一作目『吾輩は猫である』を執筆。ここはその舞台ともなりました。



団子坂

その名の由来は、団子屋があったからとも、悪路で転ぶと団子のようなからともいわれています。坂上から海が望めたことから「潮見坂」、また千駄木坂、七面坂の別名も。幕末から明治末には菊人形の小屋が並びました。近隣には森鷗外、夏目漱石、高村光太郎が居を構えた明治文学にゆかりの深い坂です。

※価格はすべて税込です。※データは取材時のものです。内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。※掲載店舗は通常マスク着用で営業していますが、撮影のため特別に外していただいています。



「モリキネプレート」。ドイツパン(タンネ)のプレッツェル、千駄木の人気店(コシツハム)のセミドライソーセージやコンビーフ、自家製ピルルス、ヨーグルト。ドリンクとセットで1,000円。

## 2 モリキネカフェ

テイクアウトOK

☎ 文京区千駄木1-23-4  
☎ 03-3824-5511  
🕒 10:30~17:30(L.O.17:00)  
📍 森鷗外記念館に準ずる  
🌐 <https://morigai-kinenkan.jp/>



鷗外ゆかりの庭を眺めつつ  
“独逸”の気分を味わう

森鷗外記念館1階にある喫茶室。沙羅の木や三人冗語の石など、鷗外ゆかりの庭園を眺めながら、お茶を楽しめます。鷗外の留学先ドイツにちなんだ、プレッツェルやセミドライソーセージ、ザワークラウトなどを使った軽食やデザートもお手頃な値段で味わえます。



ハコデキット おどろくばこ2,200円、ライフ ノーブルノートB6方眼880円、サンマのペンケース2,750円、オートボールペン リバティ1,100円。機能的で魅力的な日本の文房具を再発見。

## 4 GOAT ゴート

☎ 文京区千駄木2-39-5-102  
☎ 金13:00~18:00  
土・日・祝12:00~18:00  
🕒 月~木  
🌐 Twitter @stationeryGOAT



東京・日本の文房具の魅力と  
出会う小さなショップ

“文房具の生産地”として昔から魅力的な製品を生んできた東京。そんなMade in TOKYOの変わらない、そして新しい文房具たちが並ぶ小さなお店です。なかでも戦前~昭和のレトロな文具は、まさに掘り出し物。懐かしさと発見と…。ここは文房具のぬくもりに出会える所です。

◀ イラストレーターますこよりさんとの  
コラボ商品も注目です。



(左から)光栄菊 白月1,925円、同・黄昏オレンジ1,815円、獅子の里 純米吟醸 純 オリゼー1,650円、クールミントグリーン、フラミンゴオレンジ(芋焼酎)各2,970円、田中六五6513(オープン価格)。

## 3 伊勢五本店

☎ 文京区千駄木3-3-13  
☎ 03-3821-4573  
🕒 11:00~19:30  
土11:00~20:00、日11:00~19:00  
🔥 火  
🌐 <https://isego.net/>



日本各地から逸品が集まる  
三世継続く老舗の酒屋さん

開業は宝永3(1706)年。九代目が商う店には、蔵元やお客様とのつながりから見出された、日本各地の酒・焼酎・ウイスキー・ワイン・リキュールなどが常時約400種。迷っても、お酒を熟知したスタッフが丁寧に相談にのってくれます。今宵の一杯は、どれになさいます?

◀ 店長 長谷部 匠平さん



「薫風お試しセット」白羊羹・焼浮島・ごぼう夢+おすすめ日本酒40mlを3種類 1,650円。和菓子と日本酒をコース仕立てて提供する「マリアージュコース」も開催しています。

## 5 和菓子 薫風

テイクアウトOK

☎ 文京区千駄木2-24-5  
☎ 03-3824-3131  
🕒 水~金13:30~20:00  
土・日13:30~19:00  
🕒 月・火 ※土・日不定休  
🌐 <https://wagashikunpu.com/>



和菓子と日本酒は、古くから  
相性抜群のパートナーでした

和菓子と日本酒…意外と思えるこの組み合わせ、じつは日本古来の食文化なのです。季節を映した和菓子に、その味にマッチするよう厳選された個性豊かな日本酒。それはまさに幸せなマリアージュ。心ほぐす味わいに、見知らぬお客様同士も打ち解ける和みのお店です。

◀ 代表 つくださちこさん

注目の人  
文京区立  
森鷗外記念館 館長  
高橋 唐子 さん



## まちと人、文学をつなぐ出会いの場へ

開館は10年前、鷗外生誕150年の時です。以前は“記念室”として、本郷図書館の一角に設けられた小規模なものでした。じつは私、美術大学を卒業した頃に訪れていて、その功績に比べひっそりしている印象があったんです。まちの人の想いも同じだったようで、その足跡を残したいという人々の想いが「記念館」を建てたのだと思います。開館してめざしたのは、まず住民の方に知っていただくこと。次の段階は館の個性、ユニークな文学館にしたい

と美術や演劇も取り入れ、イベントや講演会も開催しました。そしてメモリアルイヤーとなる今年のテーマは、次の時代・世代へ森鷗外をつないでいくことです。その作品、足跡を研究して人間・鷗外を実態として残し、それを若者に分かりやすく伝えていく。開催中の『読み継がれる鷗外』も、様々な分野の方の視点と感性で読み解き語ってもらい、鷗外に関心を抱ききっかけになればと企画したものです。鷗外が住んだ“観潮楼”は、多くの文化人が訪れたサロンでした。記念館も幅広い世代の人々や文化がつながる、まちの交流の場として皆さんをお待ちしています。

## 森鷗外を探しに 「書店をぶらりスタンプラリー」

2022年  
6月1日(水) ▶ 7月31日(日)



オリジナル  
ミニバッグが  
もらえる!

文豪・森鷗外の生誕160年・没後100年を記念して、文京区を中心とした都内書店にて「森鷗外関連書籍フェア」を開催。期間中に参加書店と森鷗外記念館を利用すると、オリジナルミニバッグがもらえるスタンプラリーを実施します。  
※詳しくは森鷗外記念館HPをご覧ください。